

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名) 保育内容総論	授業の種類 (講義・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 青田 由美子	当該科目に関する 実務経験 保育士
授業の回数 15回	時間数 (単位数) 30時間 (1単位)	配当学年・時期 1年・前期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ・ 保育内容を幼児の生活そのものと捉え、それらを構成しているさまざまな事象を、理論面・実践面の両面から学んでいく。 [授業全体の内容の概要] 1. 保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育の内容」の関連を理解する。 2. 保育所保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。 3. 子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史の変遷等を踏まえ、保育の内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程(計画・実践・記録・評価・改善)につなげて理解する。 4. 保育の多様な展開について具体的に理解する。 [授業終了時の達成課題(到達目標)] ・ 学生自らの主体的態度を育み、保育者として必要な保育実践力を身につける。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1. 第1章 保育内容とは何か① 2. 第1章 保育内容とは何か② 3. 第1章 保育内容とは何か③ 4. 第2章 心身の健康に関する領域「健康」① 5. 第2章 心身の健康に関する領域「健康」② 6. 第3章 人との関わりに関する領域「人間関係」① 7. 第3章 人との関わりに関する領域「人間関係」② 8. 第4章 身近な環境との関わりに関する領域「環境」① 9. 第4章 身近な環境との関わりに関する領域「環境」② 10. 第5章 言葉の獲得に関する領域「言葉」① 11. 第5章 言葉の獲得に関する領域「言葉」② 12. 第6章 感性と表現に関わる領域「表現」 13. 第7章 3歳未満児の保育内容 14. 第8章 「養護」について 15. 期末試験			
[使用テキスト] 保育・幼児教育シリーズ 保育内容総論 (大豆生田啓友・田澤里喜 編著/玉川大学出版部) [参考文献] 保育内容総論 あなたならどうしますか? (酒井幸子・守巧 編著/萌文書林)			
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点(75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点(25%) ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。			